

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

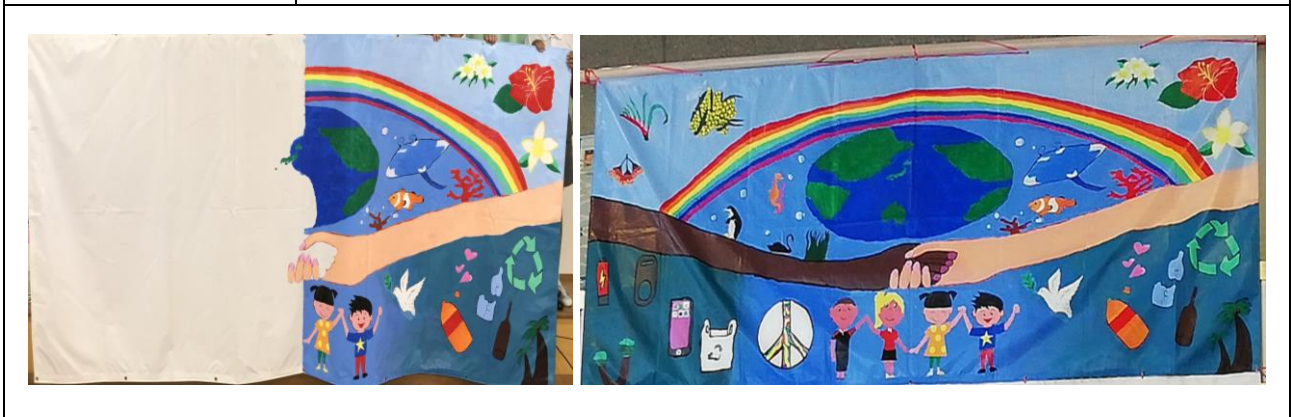
日本学校名 [北谷町立浜川小学校] 担当教諭名 [東風平 こずえ] (6年1・2・3組 91名)
 相手国・地域 [オーストラリア]
 海外学校名 [Hillman Primary School] 担当教諭名 [Fiona Nuts]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----|-----------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合 | オーストラリアとSDGsについて話し合おう | 18 |
| | 外国語 | 英語で自己紹介をしよう | 4 |
| | 図工 | オーストラリアと心を一つに絵を描こう | 6 |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|--|--|
| 題 (テーマ) | Your responsibilities and 3R create a beautiful earth. |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 私たちは、一つの地球に暮らしている。一人ひとりの自覚がこれからの地球を変えていく。あなたの責任感と3つのR、リデュース、リユース、リサイクルで美しい地球をつくっていきましょう！ |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 外国の同世代の子達と交流することで、英語に興味が高まり、相手の文化を尊重し、自国文化を伝えたいという気持ちが高まり、よかった。 SDGsというテーマを相手国とともに考えることができ、自分たちにできることを考え、実行しようとするよい機会となった。 | <ul style="list-style-type: none"> スカイプでのテレビ会議が望ましかったが、相手国がWebexでの回線しか使えなかったので、戸惑い、回数が限られたのが残念だった。 相手国の学年が同じではなかったことと、学年の終了が違ったため、最後のシェアリングがうまくいかなかった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> オーストラリアについて、あまり知らなかった子供達が、テレビ会議をすることで、自己紹介の英語を練習したり、進んでオーストラリアのことを調べたり、異文化を理解しようとするようになった。 SDGsについて知り、世界に目を向けるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> フォーラムの交流の仕方がわかり、簡単に相手国の先生方と意思の疎通ができ、気になったことなどを、話し合うことができた。 オーストラリアのリサイクルの考え方が海に対してのものが多く、沖縄でも同じような考えなので共感できた。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|--------------------|------------|--|--|------------|
| 出会い 自己紹介 | 5月 6月 | ・アートマイルの学習についてオリエンテーション。(オーストラリアと紹介) ・自己紹介のビデオ作成のための計画と撮影(スケッチブックを使って) | ・これからどのような学習になるのか楽しみにしている様子だった。 英語がうまく伝わるように、絵や写真を用意し、練習に励んでいた。 | 総合4 英語2 |
| 共有 テーマ学習 | 7月 | ・SDGs についての授業を受け、自分たちに何が必要か、できるのか交流のテーマについて話し合った。 ・沖縄(日本)の文化紹介をフォーラムで行った。 | ・オーストラリアの文化に興味を持ち、いろいろ調べていた。 ・SDGs の内容を図書館やネットで調べ、グループで活発に意見交換していた。 | 総合6 |
| 融合 メッセージ作成 | 9月 10月 | ・テレビ会議に向けて、自分たちの思いを提案する計画と練習。 ・テレビ会議(Webex)を行った。 ・テーマについて直接、話し合った。 | ・直接話せることに意欲が高まり、発表練習をがんばっていた。 ・相手の話を聞いて、テーマのアレンジや絵の構成を考え直していた。 | 総合6 英語2 |
| 創造 壁画制作 | 11月 12月 | ・下書きをフォーラムで納得するまで話し合った。 ・決定後、デザインをプロジェクターに投影し、アウトラインを描きながら着色した。その後、発送。 | ・オーストラリアに思いが伝わるように、丁寧に何度も下絵を確認しながら、描き、色の組み合わせを工夫していた。 | 図工6 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 2月 | ・完成した壁画を全校児童にお披露目し、完成した絵についてと交流を終えての振り返りをした。 | ・図案も内容もきれいにつながっていたことに感激し、オーストラリアの表現に驚いていた。交流を行ってよかったと満足そうであった。 | 総合2 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

| 学習目標・つきたい力 | 評価 | 先生が手応えを感じた場面・理由 |
|-------------------------------|----|---|
| 自文化を理解する力 | 4 | 沖縄(日本)について、調べ直すことで、自分たちの知らないことを発見し、自分たちの文化の素晴らしさに多くの児童が気づき理解していた。 |
| 異文化を理解する力 | 5 | フォーラムや実際にテレビ会議で話すことで、相手国の文化に興味を持ち、他の国のことが、もっと知りたいという思いが高まっていた。 |
| 情報活用能力 (収集・まとめ・発信) | 4 | インターネットや図書館の資料を活用し、沖縄(日本)や相手国について調べ、情報を取捨選択し、まとめることができた。 |
| コミュニケーション力 (双方向・共感・英語) | 4 | 英語を使って相手に直接伝えたいという気持ちが高まり、英語力はアップしたのだが、テレビ会議が1回だけだったことが残念だった。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理的視点) | 3 | 相手国の考えを聞き、自分達はどうすべきなのかを考え、話し合いの中で意見をはっきり明確に話せる児童は限られていた。 |
| 主体的に考え行動する力 | 3 | 主体的に相手国の児童に伝えようと行動する児童はいるのだが、受け身の姿勢の児童も多かった。 |
| 他者と協働する力 (学級内・海外の相手) | 5 | 友達と話し合い、関わり合いを高めながら、進んで協力し、分担した役割を果たすことができた。 |
| 思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作) | 5 | どうすれば相手国に自分たちの伝えたいことが伝わるのか、構図を工夫したり、混色の色合いを変えたりしながら取り組むことができた。 |
| 評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価) | 4 | 相手国との協働作品を鑑賞することで、互いの文化や自然を守ろうとする思いに賛同し、自分たちの未来について考えることができた。 |